

健康・生活科学委員会ヘルスケア人材共創に向けた看護学分科会

第26期・第5回議事録

日時：令和7年1月13日（月）10:00～12:00

場所：オンライン会議

出席者：西村ユミ（委員長）、森山美知子（副委員長）、井上智子、大久保暢子、坂下玲子、亀井智子、神原咲子、真田弘美、田高悦子、仲上豪二郎、法橋尚宏、三重野英子、山本則子、吉沢豊予子、綿貫成明、浅野みどり、片田範子、中村征樹

欠席者：熊谷晋一郎、永井由佳里、手島恵、新福洋子

【報告事項】

1. 総会・第2部(生命科学)および委員会等からの報告

- ・ 西村委員長より、2024年12月22日に日本学術会議総会が実施されたこと、関連資料がホームページ掲載されている旨が報告された。

2. 第1回公開シンポジウムの開催報告

- ・ 令和7年1月11日に開催された第1回公開シンポジウム「人口減少・人口偏在社会に求められるヘルスケア人材」の参加者アンケート結果が大久保連携委員から報告され、西村委員長ならびに森山副委員長から内容の概要が報告された。
- ・ 上記報告をもとに他会員から以下の意見が出された。

看護師の初任給が他職種と比較し低いことや労働条件の劣悪なこともあり、看護職の魅力を若者に一層伝える努力が必要である。国保や税金で賄うような対策、男性に対する看護職の魅力の広報、高校教師や保護者、メディアへの働きかけも重要である。他学問分野や職種は、ワークライフバランスの視点で女性進出の課題が議論されている。それを受けて、看護界は女性の働き方が出来ているので言語化を行い、逆に他学問分野や職種に示していくことも必要である。

外国人の看護師資格の規制緩和も必要ではないか、チーム医療の職種の偏在はエビデンスを示して説明する必要がある。

3. 各班の進捗状況について

- ・ 西村委員長より、今後、3つの班に分かれ、公開シンポジウムの検討や意見書作成を進める説明がなされた。
- ・ 各班のリーダーから班活動の進捗についての報告がなされた。

西村委員長より、意見書発出までの作業工程の説明がなされ、閉会となった。

以上